

フッ化物誤飲への対応表

体重 1 kgあたり	症状	対応
2 mg/kg 以上	軽い胃腸症状 (吐き気・腹痛・下痢)	・カルシウム剤や牛乳を与えて数時間様子を見る。 ・嘔吐させる必要はない。
5 mg/kg 以上	治療・入院処置が必要	・医療機関へ搬送し、2～3時間様子を見る。 ・嘔吐を誘導し胃を空にする。 ・経口的に可溶性カルシウムを投与する。
15mg/kg 以上		・緊急に入院させる。

【対応例：体重 30kg の子どもの場合】

- ・体重 30 kg の場合、軽い胃腸症状が起こるフッ素量は 60mg。

週 1 回法（1 回量 10ml あたり 9mg）では、7 人分（63ml）以上を一度に飲み込まない限り胃腸症状が生じる可能性は少ない。

もし、洗口中に 10ml を誤飲してしまった際は、カルシウム剤や牛乳などを飲ませ、数時間様子を見る。

- ・体重 30kg の場合、治療入院が必要となるフッ素量は 150mg。

週 1 回法（1 回量 10ml あたり 9mg）では、17 人分（153ml）以上を一度に飲み込まない限り、治療・入院処置が必要となることはない。万が一誤飲してしまった際は、カルシウム剤や牛乳などを飲ませ、救急搬送する。

※カルシウムはフッ化物と結合して、胃からの吸収を阻害する作用があります。